

報道関係者 各位

令和3年2月10日

広島県における健康課題・特性について

～男性の5人に2人がメタボ該当、コロナ禍での健診受診者減少に警鐘を鳴らす～

- 協会けんぽでは、健診や医療費データの経年変化を可視化させた「スコアリングレポート（注1）」を作成しています。

今般、県民の4割が加入する広島支部において、加入者の健康上の課題や特性（注2）が明らかになりました。これらの結果について、マスメディア等も含めて幅広く周知することを通じて、加入者ひいては県民の健康意識の醸成を図るものです。

① 男性の5人に2人がメタボリックシンドローム

- ◆ 男性は40.6%（全国平均41.2%）、女性は11.4%（全国平均11.5%）
- ◆ 男性は約4割（5人に2人）の方がメタボリックシンドローム（予備群を含む）に該当。

② 代謝（血糖）リスク保有者の割合が高い

- ◆ 男性は45.7%（全国平均43.6%）、女性は25.6%（全国平均23.1%）
- ◆ 男性・女性ともに代謝（血糖）リスク、つまり糖尿病のリスクの割合が全国平均より高い。

③ 運動習慣の改善が必要な方の割合が高い

- ◆ 男性は67.0%（全国平均63.8%）、女性は69.7%（全国平均68.3%）
- ◆ 男性・女性ともに約7割の方が、運動習慣の改善が必要な方で全国平均より高い。

④ 睡眠で休養が取れていない方の割合が高い

- ◆ 男性は42.1%（全国平均38.7%）、女性は45.2%（全国平均44.1%）
- ◆ 男性・女性ともに4割強の方が睡眠で休養が取れていない方で全国平均より高い。

- コロナ禍において、広島支部加入者の健診受診者数は1割程度減少しており（R.2.12時点、前年度対比）、生活習慣病の予防や発見遅れが懸念されます。

ご自身の健康状態を確認いただくための第一歩として、まずは定期的な健診の受診（年1回）を呼び掛けており（注3）、当協会では加入者の健診費用の一部補助しています。

- また、本年より、糖尿病（糖尿病性腎症含む）の治療を中断されている方については、重症化を予防することを目的として、治療再開を促す通知を送付する取組を開始しています（R.3.1開始）。

引き続き、加入者の健康度の維持・向上のための取組を進めてまいります。

注1）2019年度版のスコアリングレポートは、近日中にHPに掲載する予定です

注2）健診受診対象者（40～74歳）のうち、実際に健診を受診された方のデータに基づいた結果です

注3）新型コロナウイルス感染防止対策として、健診委託機関への対応を要請しているほか、加入者へも健診受診時のマスク着用や入室・退室時の手指消毒等をお願いしています。

【協会けんぽについて】

中小企業等（約236万社）で働く従業員やそのご家族（約4,028万人）が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 加入事業所数（広島支部）： 55,319 事業所（令和2年10月時点）
- ・ 加入者数（同上）： 1,093,505 人（令和2年10月時点）

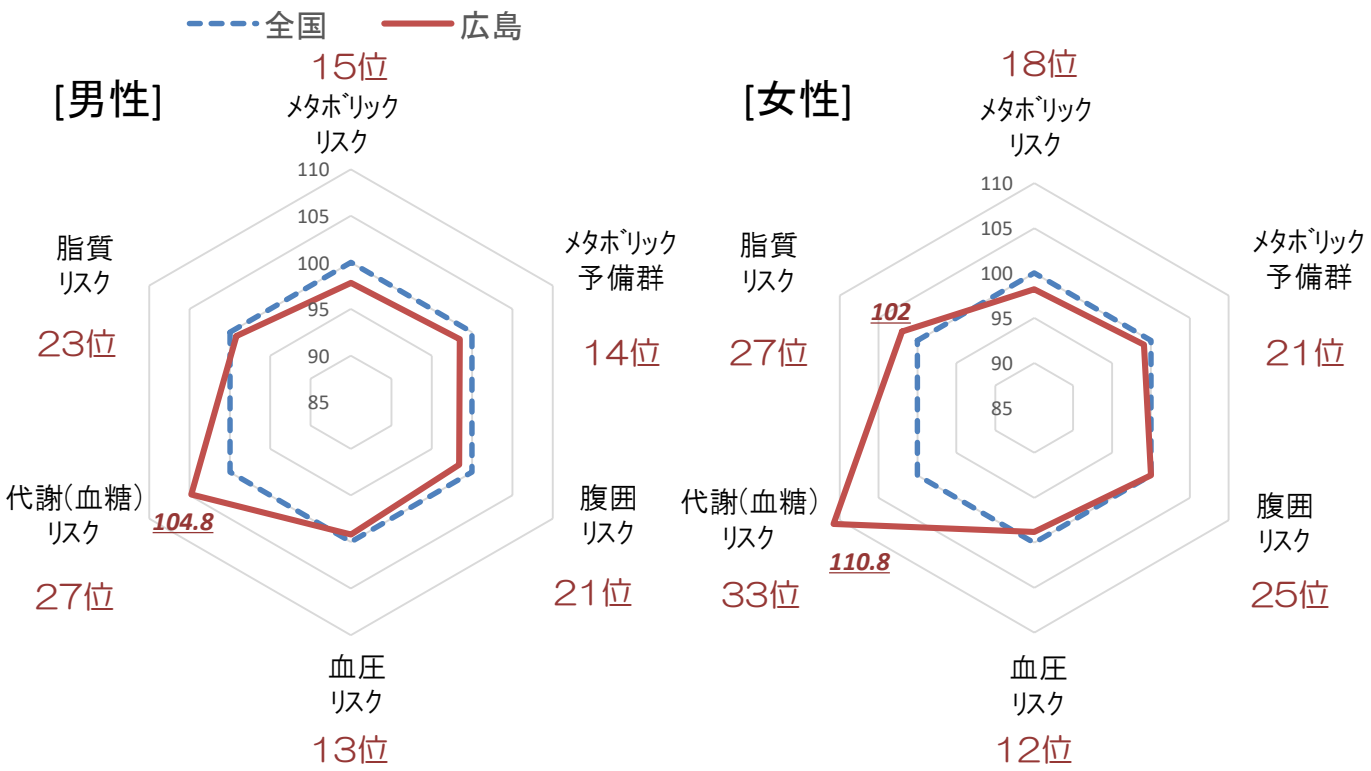
＜本件に関するお問い合わせ＞

全国健康保険協会広島支部
企画総務グループ
担当：尾田・西岡
TEL 082-568-1014

生活習慣病リスク保有者割合の全国比較（2019年度）

別紙

全国平均と比較して、男性・女性とも代謝(血糖)リスク保有者の割合が突出して高い。
(全国を100とした指数で、指数は低いほうが良い状態)



生活習慣病リスクの判定基準

項目	判定基準
メタボリックリスク	腹囲リスク該当かつ血圧、代謝、脂質のうち2つ以上のリスクに該当する者
メタボリック予備群	腹囲リスク該当かつ血圧、代謝、脂質のうち1つのリスクに該当する者
腹囲リスク	男性85cm以上、女性90cm以上
血圧リスク	収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上又は服薬
代謝（血糖）リスク	空腹時血糖100mg/dl以上
脂質リスク	中性脂肪150mg/dl以上

順位の判定について

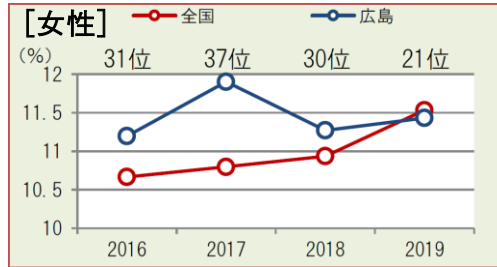
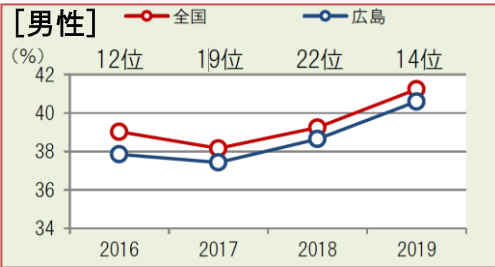
レーダーチャートに記載の順位は、協会けんぽの各支部と比較した広島支部の順位でリスク保有率が低い順。

別紙

■男性の5人に2人がメタボリックシンドロームに該当

男性は40.6%（全国平均41.2%）、女性は11.4%（全国平均11.5%） ※2019年度(令和元年度)

男性は約4割（5人に2人）の方がメタボリックシンドローム（予備群を含む）に該当。

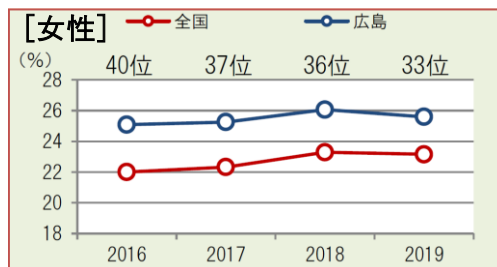
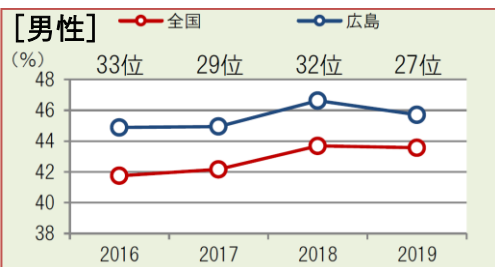


メタボリックリスク保有者と予備群の判定基準：腹囲リスク該当かつ血圧、代謝、脂質のうち1つのリスクに該当する方

■代謝（血糖）リスク保有者の割合が高い

男性は45.7%（全国平均43.6%）、女性は25.6%（全国平均23.1%） ※2019年度(令和元年度)

男性・女性ともに代謝(血糖)リスク、つまりは「糖尿病」のリスクの割合が全国平均より高い。

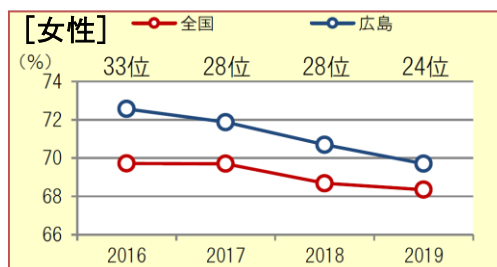
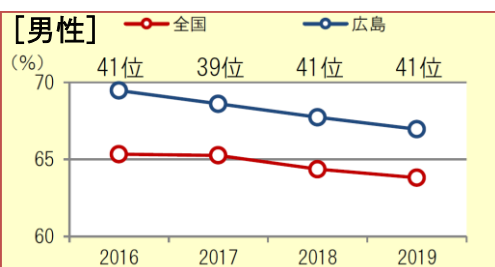


代謝(血糖)リスクの判定値：空腹時血糖100mg/dl以上

■運動習慣の改善が必要な方の割合が高い

男性は67.0%（全国平均63.8%）、女性は69.7%（全国平均68.3%） ※2019年度(令和元年度)

男性・女性ともに約7割の方が運動習慣の改善が必要で、全国平均より高い。

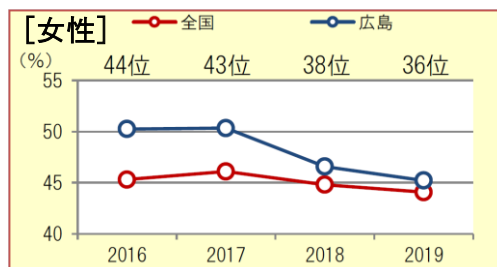
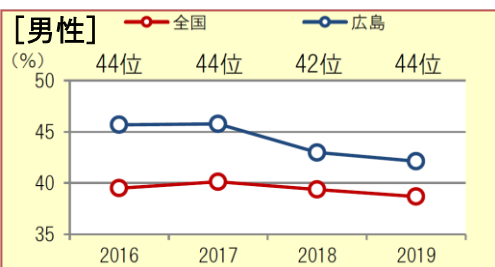


判定基準：「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」と「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」と「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」それぞれに「いいえ」と回答した方の割合の平均

■睡眠で休養が取れていない方の割合が高い

男性は42.1%（全国平均38.7%）、女性は45.2%（全国平均44.1%） ※2019年度(令和元年度)

男性・女性ともに4割強の方が睡眠で休養が取れていない方で、全国平均より高い。



判定基準：「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した方の割合

順位の判定について

協会けんぽの各支部と比較した広島支部の順位。リスク保有率及び生活習慣の改善の必要な方の割合の順位は低い順。